

平成 28 年度アーツ・コンソーシアム大分 構築計画実績報告書

～創造県おおいたの推進体制構築に向けて～

2017年3月

アーツ・コンソーシアム大分

はじめに

大分県は、新たな長期総合計画「安心・活力・発展プラン 2015」の中に、政策の柱として「芸術文化による創造県おおいたの推進」を掲げ、芸術文化の創造とともに、芸術文化の持つ創造性を生かした地域づくりを推進することとした。

そして「創造県おおいた」のサステナブル（持続可能）な推進体制を構築すべく、2016年6月に、大分県、大分県立芸術文化短期大学（芸短大）、（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団の三者からなるコンソーシアム（共同事業体）型の組織として「アーツ・コンソーシアム大分」を立ち上げた。

当報告書は、アーツ・コンソーシアム大分の初年度の事業実績を取りまとめたものである。「第1章 アーツ・コンソーシアム大分の設置」では、コンソーシアムの概要などについて紹介を行っている。

第2～5章にかけては、芸術文化振興施策のあり方と県内アートプロジェクトの試行評価の調査結果について報告している。「第2章 評価の基礎論」では、評価の基本的な考え方や諸手法について理論的・歴史的な整理を行ったうえで、近年注目を集めている社会的インパクト評価をトピックとして紹介している。「第3章 芸術文化振興施策の評価」では、第2章の基礎を踏まえて、芸術文化事業の評価に関する先行研究の分析や、大分県内におけるアートプロジェクトの評価のあり方の検討を行っている。そして「第4章 ベップ・アート・マンス&in BEPPU の評価」ならびに「第5章 TAKETA ART CULTURE の評価」には、それぞれ別府市、竹田市で開催されたアートプロジェクトを評価した結果を掲載している。

「第6章 効果的な支援のあり方」では、民間資金導入手法などのアートプロジェクトに対する効果的な支援のあり方をテーマに、クラウドファンディング、ふるさと納税、社会的インパクト投資といったトピックをまとめている。

「第7章 文化プログラムの事例調査」では、ロンドン五輪、リオ五輪、ラグビーワールドカップイングランド大会などにおける文化プログラムの実施状況を調査し、2018年の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、2019年のラグビーワールドカップ大分開催、2020年の東京五輪に向けた文化プログラムのあり方を検討するための材料を得ることを目指した。

そして「第8章 人材育成」では、芸短大で開講を計画しているアートマネジメントプログラムの内容検討に活かすべく、コンソーシアムが参画した取り組みなどを紹介している。

この報告書が、県内で芸術文化活動や地域づくり活動に取り組む多くの人々の参考となり、「創造県おおいた」を着実に推進していく体制づくりの一助となれば幸いである。

2017年3月
アーツ・コンソーシアム大分

目次

第1章	アーツ・コンソーシアム大分の設置	1
第2章	評価の基礎論	3
第3章	芸術文化振興施策の評価	23
第4章	ベップ・アート・マンス&in BEPPU の評価	40
第5章	TAKETA ART CULTURE の評価	48
第6章	効果的な支援のあり方	55
第7章	文化プログラムの事例調査	69
第8章	人材育成	84
参考資料		86

平成 28 年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書
～創造県おおいたの推進体制構築に向けて～

発 行 2017 年 3 月

著 者 アーツ・コンソーシアム大分

執筆担当 (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団

アーツラボラトリー室 三浦宏樹 福井海世

〒870-0029 大分県大分市高砂町 2 番 33 号 iichiko 総合文化センター内

097-533-4011 (代)

助 成  平成 28 年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
文化庁

* 無断複写・転載はお断りします。